

2015年7月8日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第37号

イパネマ地区で強盗事件に伴う銃撃戦が発生

当地主要紙オ・グローボ電子版 G1 によれば、7月7日（水）午後2時55分頃、リオ市イパネマ地区の銀行前で出待強盗が発生し、女性1名が怪我をする事件が発生しました。犯人は逃走しましたが、ラゴア地区の湖内で取り押さえられた模様です。

- (1) 7月7日午後2時55分頃、リオ市イパネマ地区のヴィスコンデ・デ・ピラジャ (Visconde de Pirajá) 通りとジョアナ・アンジェリカ (Joana Angelica) 通りの交差点付近に位置する銀行 (Banco do Brasi) で女性1名が現金を引き降ろした。
- (2) 女性が銀行を出たところ、待ち構えていた男1名がけん銃で同女を脅し、女性が所持していたカバンを引き渡すよう要求した。
- (3) 脅された女性はカバンを離さず、逆に強く抱えるなどして抵抗した結果、犯人が発砲し、女性の脚に命中した。
- (4) その後犯人は、同女のカバンを奪ってラゴア方向に逃走したものの、湖内に逃げ込んだところを、追跡してきた第23州軍警察本部の警察官らによって逮捕された。
- (5) 女性は美容院勤務で、従業員へ渡す給料を引き降ろした直後被害に遭った模様。

2 当館から

現場となったヴィスコンジ・デ・ピラジャ通りは、邦人を含む多くの外国人が行き交うイパネマ地区の目抜き通りです。発生時間は日中で、人通りも多い時間帯でした。

【強盗に遭ってしまったら】

万が一、強盗に遭ってしまった場合は以下の点に留意して下さい。また、警察（観光警察・21-2332-2924）に被害届を提出した上、総領事館までご連絡下さい。

- 決して抵抗せず、相手の要求に素直に従う
- 慌てず騒がず、冷静に対応する
- 相手に無断でポケットや懐には手を入れない
- 急な動作をしない。
- 相手の顔を直視しない（顔を覚えられたと受け止められる）